学校番号	１００７

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	１単位	年次	３年次
講座名	家庭総合（３年）						
使用教科書	「家庭総合　パートナーシップでつくる未来」　（実教出版）						
副教材等	「ニューライブラリー家庭科　資料＋成分表」　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。
・食品の特徴と栄養素についての知識を身に付け、適切な食事について主体的に考え、実行できる力を身につけましょう。
・子どもの発達・発育について学び、保育者の視点を持って子どもとの関わり方について思考・判断できる力を身につけましょう。

２　学習の到達目標

・食品の特徴と栄養素についての知識を身につけ、適切な食事について主体的に考え、実行できる力を身につける。
・子どもの発達・発育について学び、保育者の視点を持って子どもとの関わり方について思考・判断できる力を身につける。
・高齢者の現状と生活を理解し、身近な問題としてとらえる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	食生活、子どもの発達・発育、高齢者などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	食生活、子どもの発達・発育、消費生活などについてその充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	食生活、子どもの発達・発育、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	食生活、子どもの発達・発育、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表、定期テスト、実技テストの結果、自己評価・相互評価等。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表、小テスト、定期考査の結果等。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	生活をつくる	○栄養と食品の関わり ○食品の選び方と安全 ○これからの食生活を考える ＊調理実習	○	○ ○	○ ○	○	a:栄養や食品、調理について自分自身の生活問題として授業の内容を捉えている。 b:食品の選び方や安全について自分の考えをしっかり持ち、意見を表明できる。 c:食品、栄養、調理に関する技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 d: 食品、栄養、調理に関する知識を身に付けている。	・考査 ・授業プリント ・レポート ・小テスト ・授業態度
2ターム	子どもとかかわる	○子どもを知る ○発達のすばらしさ ○親になることを考えよう ○健やかに育つ環境	○ ○ ○	○	○	○	a:授業に関心を持ち、意欲的に取り組んだ。 b:子どもの発達と保育について課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現できる。 c:子どもとの適切な関わり方や発達を支える技術を身に付けている。 d:保育に関する正しい知識を得ることができた。	・被服製作実習 ・授業態度 ・進度 ・授業プリント ・小テスト
3ターム	子どもとかかわる	○子どもの生活（子どものおもちゃ・おやつの製作）	○	○	○	○	a:授業に関心を持ち、意欲的に取り組んだ。 b:子どもの発達と保育について課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現できる。 c:子どもとの適切な関わり方や発達を支える技術を身に付けている。 d:保育に関する正しい知識を得ることができた。	・保育製作実習 ・作品の完成 ・レポート ・記録用紙の記入 ・授業態度
4ターム	高齢者とかかわる	○高齢者を知る ○高齢者の自立と豊かな社会の実現	○	○	○	○	a:社会的な問題に関心をもち授業への関心を持っている。 b:高齢者の暮らしや現代の課題を自らの問題としてとらえ主体的な思考、判断ができる。 c: 高齢者の心身の特徴を知り特性を知る。 d:高齢者の介護や福祉についての理解を深める。	・考査 ・授業プリント ・レポート ・課題 ・小テスト ・授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。